

七三一部隊名簿の全貌が、ついに明らかに！

# 留守名簿

中国において細菌戦、人体実験を試み、七三一部隊と通称された関東軍防疫給水部満洲第六五九部隊。森村誠一が『悪魔の飽食』で「厚生省が保管」と紹介した幻の名簿が、国立公文書館との数年にわたる折衝の末、ついに公開。各部隊、隊員の戦後の復員までの実態を伝える貴重資料として、「関東軍防疫給水部」の「留守名簿」から、『十五年戦争陸軍留守名簿資料集』として順次復刻する。その第1回として『留守名簿 関東軍防疫給水部』全2冊を刊行する。二〇〇四年弊社刊行の『陸軍軍医学校防疫研究報告』全8冊・別冊1に続く、戦争犯罪解明のための第一級資料、待望の復刻！

# 関東軍防疫給水部

全2冊  
(全2回配本)

十五年戦争 陸軍留守名簿資料集①

●編・解説——西山勝夫（滋賀医科大学名誉教授）

●揃定価——（揃本体 36,000円＋税）

●原簿名——「関東軍防疫給水部 満洲第六五九部隊 留守名簿」

●体裁——（昭和二十年一月一日、関東軍防疫給水部）

●配本——A4判・上製・函入・総約800頁（各約400頁）

第1回配本 第1冊（2018年8月刊行）定価（本体18,000円＋税）

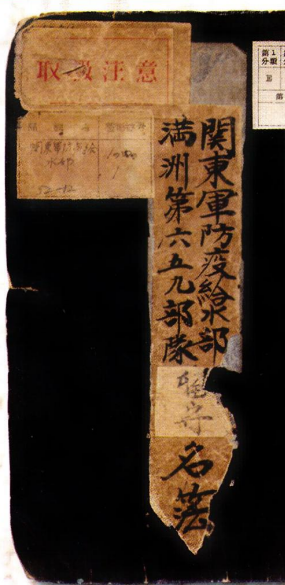
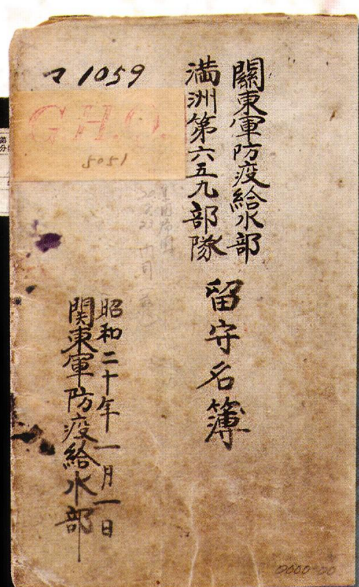
ISBN 978-4-8350-8251-6

第2回配本 第2冊（2018年11月予定）定価（本体18,000円＋税）

ISBN 978-4-8350-8252-3

『十五年戦争陸軍留守名簿資料集』②以降も順次刊行！

- ②『留守名簿 関東軍防疫給水部 復七名簿』全2冊（19年2月刊行予定）
- ③『留守名簿 北支那防疫給水部』全1冊（19年5月刊行予定）
- ④『留守名簿 南方軍防疫給水部』全1冊（19年8月刊行予定）
- ⑤『留守名簿 関東軍馬防疫廠』全1冊（19年11月刊行予定）



不二出版



# 留守名簿

## 関東軍防疫給水部

全2冊 (全2回配本)

●編・解説——西山勝夫 (滋賀医科大学名誉教授)

●揃定価——(揃本体 36,000円 + 税)

●原簿名——「関東軍防疫給水部 満洲第六五九部隊留守名簿」  
(昭和二十年一月一日、関東軍防疫給水部)

●体裁——A4判・上製・函入・総約800頁 (各約400頁)

●配本——第1回配本 第1冊 (2018年8月刊行)  
定価 (本体18,000円 + 税)

ISBN 978-4-8350-8251-6

第2回配本 第2冊 (2018年11月予定)

定価 (本体18,000円 + 税)

ISBN 978-4-8350-8252-3

『十五年戦争陸軍留守名簿資料集』②以降も順次刊行!

②『留守名簿 関東軍防疫給水部 復七名簿』

全2冊 (19年2月刊行予定)

③『留守名簿 北支那防疫給水部』

全1冊 (19年5月刊行予定)

④『留守名簿 南方軍防疫給水部』

全1冊 (19年8月刊行予定)

⑤『留守名簿 関東軍軍馬防疫廠』

全1冊 (19年11月刊行予定)

※定価等は未定。

### 関連図書のご案内

●十五年戦争極秘資料集 補巻23

陸軍軍医学校防疫研究報告

全8冊・別冊1

七三一部隊をはじめとする、陸軍による医療研究やその理論的背景を知る基礎資料!

石井四郎が主幹を務める陸軍軍医学校防疫学教室発行の『陸軍軍医学校防疫研究報告 第二部』(昭和十四年十二月、昭和十九年八月)によって、一九四一年から四年にかけて行われた実験と研究の実態が明らかに。

●揃定価……本体161,000円 + 税  
●体裁……B4判・上製・函入・四面付・総約3,400頁

●収録内容……第1、900号(8、18、19、95、116、124、191、193、321、351、364、481、701、800は欠)

●別冊……解説(常石敬一)・総目次・付録  
●推薦……常石敬一・内藤裕史・西山勝夫・松村高夫・吉見義明

●十五年戦争極秘資料集 補巻47

総力戦研究所関係資料集

全9冊・別冊1

アジア・太平洋戦争という本格的な総力戦は、いかにして遂行されたのか?

本資料集は内閣総理大臣管轄下の研究機関・総力戦研究所が残した調査研究、訓練活動、教務日誌など、「総力戦」の実態を明らかにするために不可欠な資料群。

●揃定価……本体153,000円 + 税

●体裁……A4判・上製・総約3,600頁

●別冊……解説(栗屋憲太郎・中村陵)・総目次

●推薦……額額厚・安達宏昭

2018年2月、ついに配本完結!

表示価格はすべて税別

不二出版

〒112-0005  
東京都文京区水道2-10-10  
TEL 03-5981-6704  
FAX 03-5981-6705  
振替 001600294084



西山勝夫（本書「解説」より）

### 【本書の構成】

今回刊行の「留守名簿 関東軍防疫給水部」全2冊では、満洲第六五九部隊の名簿を複製。十五・六年戦争陸軍留守名簿資料集」は、さらに今後、満洲第六五九部隊復七（「関東軍防疫給水部復七」）、甲第一八五五部隊（「北支那防疫給水部」）、岡第九四二〇部隊（「南方軍防疫給水部」）、そして満洲第一〇〇部隊（「関東軍軍馬防疫廠」）を順次刊行する予定である。

【留守名簿とは…】

戦地や外地にある部隊に属する陸軍軍人・軍属に関する記録。家族等に対する恩給、年金その他の支給の掌握に使用される。

その記載項目は、編入年月日／前所属及び編入年月日／本籍／留守担当者の住所・続柄・氏名／徴集年／任官年／役種兵種官等／給級俸月給額等からなる。本簿はアイウエオ順に構成。

[illegible]

有志と共にあつての戦國における医學者、醫師、医学界、医療者の戦争前史の検証を求めてゐた。この戦國古文書館で「留守名簿」開東軍防給部事務を「保管している」といふ一四四年の事を見つけた。

日本赤十字社が成した大仕事は資料を「保管」して使用しきだす労働者により、歴史史料として重要な戦國資料・果敢に「開示」するところ、マインクローフイルと約二、八〇〇本を、文の大體に關する貴重なる史資料として、マインクローフイル等利用できるようにし、後代に伝へるに引續くため、一九〇一年度から五年間、國立公文書館へ「延べ三萬三千三百廿六冊」計圖行したのだ。主な資料は、「留守名簿」等の名簿で概ね九割、約三〇〇万人だ。

當時、防衛給付本部で検閲できた名簿六千六百件では「要緊な」であつた。請求の結果、ほぼ全公開に近い状況となり、半年ほど待たされたのは、一八〇八年七月の出来事を通して、調査研究容易にするためには、公開だけではなな翻刻が必要であつたことが判明した。翻刻も最著名の留守名簿の説は「開東軍防給部事務」であるが、さきがけで、「留守名簿」開東軍防給部水部などから随處一覧表に翻刻することにした。

四年間の調査研究に一划も手ぐさずするのために、翻刻と共に、復刻版の早期の刊行が不可欠とした。この事業により日清軍細田隊部隊実態解明の新たな地盤が開かれたらう。

刊行の辞

西山勝夫

(滋賀医科大学名誉教授)

[illegible]

※見本は「留守名簿北支那防疫給水部」より。

